



CO・OP 共済 《たすけあい》 商品改定の主なあゆみ (2004 年～)

改定時期	主な商品改定の内容
2004 年 9 月	<p>ジュニア18コースの改定</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 病気入院を1泊2日（2日以上1日目）から保障 (2) 病気入院・災害入院を360日まで保障 (3) J 2000円コース（入院日額10,000円）を新設 (4) 賠償責任特約の改定 <ul style="list-style-type: none"> ① 保険金額を5,000万円から1億円に増額 ② 示談交渉サービスを付帯 ③ 女性コースへの付帯を可能に (5) J 1600円コースの募集停止
2005 年 9 月	<p>女性コースの改定</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 病気入院を1泊2日（2日以上1日目）から保障 (2) 女性特定病気入院を1泊2日（2日以上1日目）から保障 (3) 女性特定病気入院共済金の増額（L 2000円コース・L 3000円コースについて日額3,000円から日額5,000円へ増額） (4) 災害通院共済金の増額（L 3000円コースについて日額1,000円から日額1,500円へ増額） (5) 住宅災害共済金の増額（L 2000円コース・L 3000円コースについて「1・5・10万円」から「3・15・30万円」へ増額） (6) L 4000円コースの新設 <p>医療コースの改定</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 病気入院を1泊2日（2日以上1日目）から保障 (2) 災害通院共済金の増額（V 2000円コースについて日額1,000円から日額1,500円へ増額） (3) 住宅災害共済金の増額（V 1000円コース・V 2000円コースについて「1・5・10万円」から「3・15・30万円」へ増額） (4) V 4000円コースの新設 <p>その他の改定</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ベーシックコースの実施（R 3000円コース・R 4000円コース） (2) 一般コース（700円コース・1700円コース・2700円コース・3900円コース）の募集停止 (3) 入院支払限度日数の延長（180日を184日に延長） (4) 女性特定病気入院の対象病気の種類追加 (5) 重度障害および後遺障害の基準の改定

改定時期	主な商品改定の内容
2006年9月	<p>ジュニア18コースの改定</p> <p>(1) 病気入院について、現行の「2日以上1日目からの保障」から「1日目からの保障」へ改善</p> <p>(2) J1000円コースの条件付加入制度実施</p> <p>個人賠償責任保険の改定</p> <p>(1) 《たすけあい》追加加入の個人賠償責任保険の保障の開始日を初回保険料入金日の翌日から、初回保険料入金月の翌月1日へ変更</p> <p>(2) 名称の表記を「賠償責任特約」から「個人賠償責任保険」へ統一</p> <p>告知事項の改定</p> <p>(1) 告知事項を分かりやすい表現に改善</p> <p>(2) 加入引受基準を一部緩和</p>
2007年9月	<p>女性・医療・ベーシック・シルバー70コースの改定</p> <p>病気入院共済金について、現行の「2日以上1日目からの保障」から「1日目からの保障」へ改善</p>
2008年9月	<p>ウェルカムコース（W1000円コース、W2000円コース）の実施</p> <p>告知事項の改定</p> <p>(1) 質問の形式の見直し</p> <p>(2) 加入引受基準を一部緩和</p> <p>条件付加入制度の改定</p> <p>子宮筋腫に関する条件付加入の範囲拡大</p> <p>加入年齢および満期年齢の引上げ</p> <p>(1) ベーシックコースを除くすべての大人分野のコースについて、64歳まで加入可能に</p> <p>(2) すべての大人分野のコースについて、満期年齢を65歳に統一</p> <p>個人賠償責任保険の改定</p> <p>ウェルカムコース、シルバー70コースへの追加加入が可能に</p>
2010年3月	<p>ジュニア18コースの改定</p> <p>(1) 「告知事項1」で加入できる、J1900円コースの実施</p> <p>(2) J1000円コース条件付加入制度の見直し</p> <p>「軽度の傷病」の一部拡大</p>
2011年9月	<p>《ずっとあい》の開始にともなう商品合算の加入限度額の設定</p> <p>(1) 死亡共済金額（災害死亡含む）：《たすけあい》《ずっとあい》終身生命を合算して1,000万円まで（0～14歳）</p> <p>(2) 入院共済金額：《たすけあい》《あいぷらす》《ずっとあい》終身医療を合算して入院日額20,000円まで（年齢問わず）</p> <p>後遺障害等級別支払割合表の一部変更</p> <p>労働者災害補償保険法施行規則の改定にともない外貌障害の等級を一部変更</p>

改定時期	主な商品改定の内容
2012年9月	<p>女性コースの改定 病気・災害入院共済金を日額 2,000 円増額、女性特定病気入院共済金を日額 5,000 円→日額 3,000 円に ⇒女性特定病気入院をした場合の入院共済金は改定前と同額のまま、病気・災害入院をした場合の入院共済金は日額 2,000 円増額に</p>
2013年9月	<p>指定代理請求人制度の導入 悪性新生物とみなす傷病の追加</p>
2014年9月	<p>反社会的勢力対応のための規定の新設 指定代理請求における共済金受取口座の変更（2014年7月の請求受付分より） 一定条件を満たす場合には指定代理請求人名義の口座の指定も可能に</p>
2015年9月	<p>加入引受基準の緩和 高血圧・脂肪肝によって告知事項に該当する場合でも、所定の基準を満たす場合には加入が可能に（特定病気加入制度）</p>
2016年9月	<p>ジュニアコースの改定 満期年齢を満 19 歳から満 20 歳に引き上げ 20 歳満期時において年齢満期後も保障が途切れることのないよう所定のコースへ自動移行させる仕組みを導入（2017年9月より実施予定） 先進医療特約の新設 加入引受基準の見直し 先進医療特約の新設等に伴い、告知事項・軽度の傷病・条件付加入制度・特定病気加入制度を整理</p>
2017年9月	<p>《たすけあい》65歳満期以降向けコースの新設 《あいふらす》ゴールド 85 に替わり《あいふらす》プラチナ 85 を新設 《たすけあい》シルバー70コースを募集停止 個人賠償責任保険の改定 保障額を最高 1 億円から最高 3 億円に引き上げ 加入できるコースを《たすけあい》に加え、《あいふらす》プラチナ 85、ゴールド 85・80 まで拡大</p>
2018年9月	<p>先進医療特約の付帯商品の拡大 《たすけあい》に加え、《あいふらす》プラチナ85にも先進医療特約を付帯できるように取扱いを拡大 個人賠償責任保険の改定 個人賠償責任保険の保障開始日を「初回保険料振替日の翌月 1 日」から「初回保険料振替日の翌日」に変更</p>

改定時期	主な商品改定の内容
2019年9月	<p>加入引受基準の見直し 特定病気加入制度に「脂質異常症・高脂血症」を追加</p> <p>《たすけあい》災害通院保障における固定具支払基準の見直し 装着部位による免責基準を廃止し、支払対象固定具を装着した場合はケガの種類に関わらず一律共済金（災害通院共済金10日分）を支払うように変更</p>
2020年9月	<p>個人賠償責任保険の改定 個人賠償責任保険の対象に電車遅延等による損害賠償を追加</p> <p>住宅に起因する事故の対象となる住宅の範囲を「記名被保険者の住宅」から「被保険者の住宅」に拡大</p>

CO・OP共済《たすけあい》募集当初～2003年までのあゆみ（概要）

改定時期	主な商品改定の内容
1984年7月	CO・OP共済《たすけあい》募集スタート
1987年7月	月掛金300円コース、600円コースを実施
1989年	月掛金400円コースを実施
1990年10月	加入者10万人の力で700円コース、1700円コース、2700円コースを実施
1992年6月	《たすけあい》で割戻金10%が実現
1993年10月	異常災害見舞金制度が実現
1994年3月	100万人の力で3900円コース新設、シルバー700円・1700円コース新設
1995年10月	こども向け1600円コースの実施（2002年9月に募集停止）
1997年9月	こども向け1000円コースの実施（2002年9月に募集停止）
1998年9月	女性コース（L2000円、L3000円コース）の実施
1999年9月	ジュニア18コース（J1000円、J1600円コース）の実施 こども向けコース（1000円、1600円コース）の名称を「ケガ通院コース（C1000、C1600）」に変更
2002年1月	シルバー70コース（S1200円、S3000円コース）の実施
2002年9月	医療コース（V1000円、V2000円コース）の実施